

## Ⅱ. 沖縄県総合運動公園陸上競技場

### 1. 計画概要

1987年海邦国体の開催に合わせて整備された沖縄県総合運動公園陸上競技場を日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）基準に準拠する施設に改修した。

メインスタンドは、既存の各室をJリーグの試合を行う為に必要な諸室へと内装の改修を行い、劣化の進んだ観客席を個席タイプの観客席へと改修した。躯体劣化補修については、アルカリ骨材反応抑制材とアルカリ付与材の塗布を行い、フッ素樹脂クリアにより打放し面の保護を行った。

バックスタンド、ゴール裏スタンドは、既存芝スタンドを個席タイプの観客席とし、メインスタンドと合わせて10,000席を確保し、便所、授乳室を新たに設置した。

大型映像装置は、630インチ相当のフルカラーLEDの鮮明な画像と操作性の高いシステムにより、サッカーの試合や陸上競技大会だけでなく、市民のレジャーでも利用できる装置を整備した。

### 2. 施設概要

所在地：沖縄市比屋根5-4（沖縄県総合運動公園内）

工期：平成26年5月～平成27年2月

構造・階数：鉄筋コンクリート造、鉄骨造 地上2階地下1階建

敷地面積：703,838.59m<sup>2</sup>

延べ面積：10,689.58m<sup>2</sup>



メインスタンド(正面エントランス側)



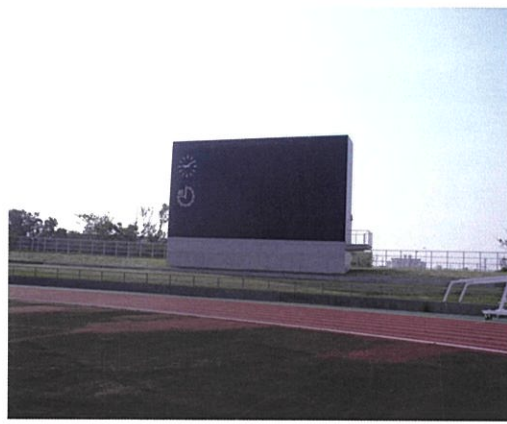
メインスタンド(フィールド側)



VIPラウンジ



バックスタンド（コンコース側）



大型映像装置



メインスタンド側



ゴール裏スタンド

## Ⅱ. 沖縄ろう学校校舎棟・屋内運動場及び水泳プール棟

### 沖縄ろう学校校舎棟・屋内運動場及び水泳プール棟

#### 1. 計画概要

沖縄ろう学校校舎棟は、聴覚に障がいのある児童・生徒たちの学び舎である。1階に小学部、2階に中学部、3階に高等部を配置した。計画において特に留意した点は、明快なゾーニングと動線である。また、生きる力を育み、自立した社会参加を支援するために聴覚障害を補完する設備(磁気ループ、LED表示器・LED積層回転灯、EVかご内監視カメラ・モニター等)を配置した。

屋内運動場及び水泳プール棟は、沖縄ろう学校及び美咲特別支援学校分校が共有し使用する建物である。1階は屋内運動場、2階に教官室・屋外広場、最上階に水泳プールを配置した。明るく快適な環境で、健やかな成長を支援するステージの創造を試みた。

#### 2. 施設概要

所在地：北中城村字屋宜原415  
工期：平成25年3月～平成26年10月  
構造・階数：鉄筋コンクリート造 3階建  
敷地面積：36,451.85m<sup>2</sup>  
延べ面積：4,560.29m<sup>2</sup>

#### 3. 施設配置





沖縄ろう学校校舎棟



かご内監視モニター



LED表示器・LED積層回転灯



屋内運動場及び水泳プール

国際物流拠点産業集積地域賃貸工場（28号棟・29号棟・30号棟・長屋A棟・長屋B棟）

1. 施設概要

所在地：うるま市勝連南風原5192-39、41、47、26、9

工期：平成26年2月～平成26年11月

構造・階数：鉄骨造 地上2階建

	28号棟	29号棟	30号棟	長屋型A棟	長屋型B棟
敷地面積	4,002.77㎡	5,150.09㎡	5,150.09㎡	5,150.09㎡	5,153.38㎡
延べ面積	1,492.57㎡	1,492.57㎡	1,492.57㎡	1,477.32㎡	1,483.88㎡

2. 計画概要

国際物流拠点産業集積地域うるま地区において、人・モノ・技術・投資を呼び込む高付加価値・高度部材産業の立地を促進するため、賃貸工場を整備し、入居する企業の初期投資の軽減や早期操業を支援し、県内の製造業及び関連産業の振興を図る。

ものづくりの先進モデル地域の形成に向け、高度・先端技術等を活かして高付加価値な製品を製造する企業などの立地促進を目的とした施設である。



28号棟 外観



30号棟 外観



作業場内部



事務室内部



長屋型A棟



長屋型B棟

## 沖縄県中央食肉衛生検査所

### 1. 施設概要

所在地：南城市大里字大里2015番地  
工期：平成25年8月28日～平成26年8月25日  
構造・階数：RC造 地上2階建  
敷地面積：2,462.64m<sup>2</sup>  
延べ面積：1,018.40m<sup>2</sup>

### 2. 計画概要

既存施設の老朽化に伴う建替整備事業として、現況施設環境の改善計画を行い、施設の計画にあたっては、施設整備事業として、敷地外構（擁壁）の改修工事（別途計画）が同時に計画実施されることにも配慮し、計画建物の配置、規模、形状等、有効活用可能な施設を構築した。



外観パース



東側より（外観）



西側より（外観）



南側より（外観）

## 沖縄盲学校（屋内運動場及び水泳プール）

### 1. 施設概要

所在地：南風原町字兼城473番地  
工期：平成26年3月～平成27年3月  
構造・階数：鉄筋コンクリート一部鉄骨造 地上3階建  
敷地面積：29,153.68㎡  
延べ面積：屋内運動場 1,363.89㎡ 水面積 400㎡

### 2. 計画概要

昭和54年に建設された。2階建て6棟からなる校舎の老朽化による危険度の解消と、敷地全体が傾斜地になっており、校舎間の通路が複雑で生徒には使い勝手がよくないため、全面改築工事を行なった。

工事は、校舎を先行して建設し完成後、屋内運動場及び水泳プールを建設した。設計のコンセプトとして、生徒が安全に使用できる様に全盲及び弱視に対応した施設を提案した。

平面計画は、1階に水泳プール、プール利用者用更衣室及びトイレ・シャワー室等を配置した。2階には、体育館、舞台、体育館利用者用更衣室及びトイレ・シャワー室を配置した。3階には、正面玄関、教官室及びギャラリーを配置した。



西側外観



北側外観



南側外観

## 宮古総合実業高校農業実習棟

### 1. 施設概要

所在地：宮古島市平良字下里280番地  
 工期：平成25年8月～平成26年10月  
 構造・階数：RC造 地上2階建  
 敷地面積：37,576.10㎡  
 延べ面積：948.45㎡

### 2. 計画概要

昭和21年に設立された県立宮古農林高校、及び県立宮古水産高校（のちに商業科を併設し翔南高校へ改名）が、平成19年再編統合した高等学校である。敷地が農林キャンパス、商業・水産キャンパス、第二農場と3箇所へ分散している。今回の建物は老朽化が著しい農林キャンパス側の農業管理棟と農業施設実習棟を解体し、農業管理棟跡地へ2棟を併合した農業実習棟の建設である。

食と環境科の環境クリエイトコースと位置づけられている。建物の北側には、農場が広がり農場からの一連の作業の流れが、能率的にスムーズに行えるように、186㎡の屋外作業スペース、隣接して野菜収納室を配置している。屋外作業スペースは収穫野菜等の販売にも利用出来、地下は地中梁を利用し散水用の雨水槽（189 t）も設置している。バリアフリー化し容易に移動が可能のように生産作業の充実性を図った。生活・学習・指導環境に配慮をした計画とする。



北西側外観



東北側外観



西側外観



## 八重山農林高校実習棟

### 1. 施設概要

所在地：石垣市字大川477番地の1  
工期：H25.12.18～H26.10.28  
構造・階数：鉄筋コンクリート造 2階建  
敷地面積：74,881.00㎡  
延べ面積：1,469,76㎡

### 2. 計画概要

既設施設や設備の現状は実習室の面積、食肉処理及び食品衛生上の問題点等でフードプロデュース科の学習環境施設としては不十分である。老朽化も進み、耐力度調査の結果からも危険であることから、既設建物を解体し新たな実習棟を建設する。

新たな実習棟は鉄筋コンクリート造2階建てで、既存校舎の機能を整理、検討しながら、既設校舎群と牛舎や農場との間に建物を配置し、既設棟との連携に配慮している。屋外実習の拠点として、生徒集合場所なども設けている。食品加工実習時の温度管理や食品加工の排水処理浄化槽を設けるなど、食品衛生面にも配慮した。また将来の太陽光パネル設置を考慮した構造としている。



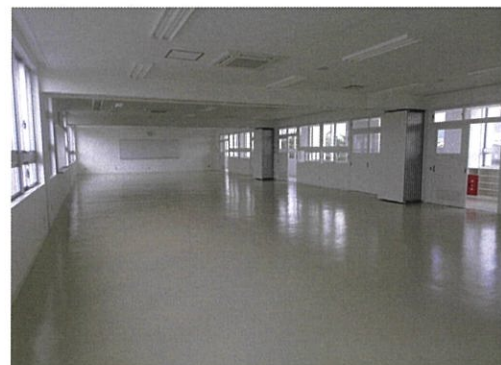
北側外観



南側外観



解体実習室



多目的教室

## 名護城公園さくら展望台

### 1. 施設概要

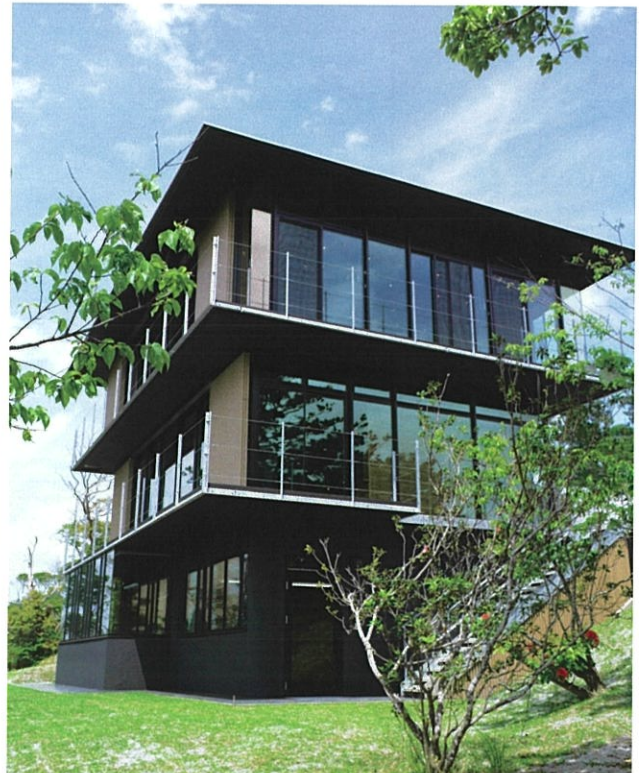
所在地：名護市字名護5511-7  
工期：平成26年5月～平成27年3月  
構造・階数：鉄筋コンクリート造 地上3階建  
敷地面積：2,973.984 m<sup>2</sup>  
延べ面積：297.119 m<sup>2</sup>

### 2. 計画概要

本計画は、名護城公園への来訪者を迎え入れる総合案内、展示、学習・集会、飲食、物販等の機能を併せ持った公園全体のビジターセンターとして計画された。来訪者にとって安らぎのある休憩所や親しみのあるセンターを目指し、焼き杉の外壁や樹脂木ルーバーを用いて森林の中にある建物として親和性を図った。省エネルギー対策として地中熱を利用したクールチューブを用い環境負荷低減に努めた。



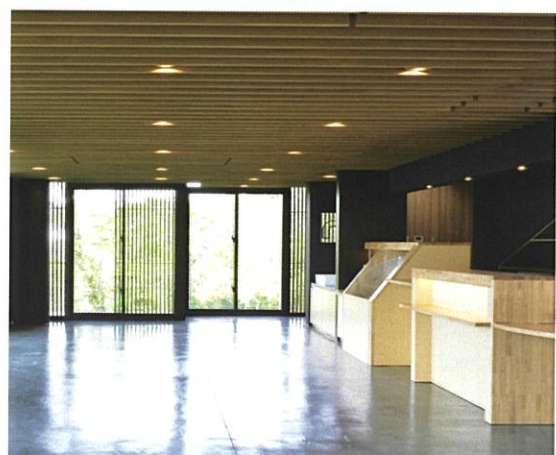
改修前



改修後



南東側外観



2階総合案内